

# みあさ美づくり通信 No.51

Miasa Community Design Since 2006



## Mendocino Miasa-Omachi Sister city exchange 2015



最初は緊張して話せなかったけど、最後には少し話せたのでよかった。自分がやった交流1のやつは、失敗するかと思って笑顔の準備もしていたけれど、他の人も手伝ってくれて、成功したから良かった。メンドシーノの方も喜んでくれたし、私達も喜んでいたので良かった。私達には言葉の壁があるけれど、それが無いような感じで、みんなが交流していたと思う。

(7年生の感想より)





## 2015年姉妹都市交流事業報告 メンドシーノから訪問団来訪される



相互交流が始まってから23年目を迎えました。今回の訪問団は18名（大人10名、生徒8名）ですが、その中に、芸術家の方4名が参加くださいました。

顧みますと、1980年5月30日、美麻基幹集落センターでメンドシーノ側代表者ウィリアム・ザッカ画伯ご夫妻、美麻村代表中村村長、北沢議長、そして仲介役吉田遠志画伯ご夫妻立会いの下、姉妹都市交流を締結して35年が過ぎました。



国際姉妹都市に調印（1980年）

1992年（平成4年）、美麻村から第1回訪問団を送り出してから、偶数年には美麻からメンドシーノへ、奇数年にはメンドシーノから美麻へと相互交流が継続されて、それぞれ12回の交流を重ねて来ました。

今回の訪問団の皆さんは、6月25日に成田空港に到着され、東京、京都、飛騨高山、立山黒部アルペンルートを通



相互交流事業始まる（1992年）

り、7月3日、美麻に来られました。皆さんは、旅の疲れも感じさせない元気な姿で歓迎会に臨まれ、4日間のホームステイに入りました。学校での児童生徒との交流、書道やワークショップの芸術交流、市役所では、市長さんを表敬訪問されました。

また、姉妹都市交流会には多くの皆様から参加いただき、浴衣に身を包んだメンドシーノの皆さんと親しく交流いただきました。「美麻での楽しい思い出は、忘れることができない。」と言っていた言葉が何より嬉しかったです。

ご協力いただいた多くの皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

メンドシーノ姉妹都市交流実行委員会  
実行委員長 北沢 伊絋男



Mendocino  
Miasa-Omachi  
Sister city  
exchange 2015

## ホストファミリーをしてみて 「Hello!」

この一言は、私が一番初めに、メンドシーノの方と話した言葉です。私は、一言を言えばいいだけなのに、恥ずかしくて、自分の英語が伝わるか心配でおどおどしてしまっていました。その気持ちは、メンドシーノの方も一緒だったと思うのに…。でも、メンドシーノの方々は、笑顔で会った時からいろんなことを話してくれてすごいし、うれしかったです。私もこんな風に初めて会った人でも仲良く、笑顔で接することができたらいいなぁと思いました。

私の家にホームステイしたケイリンとアミラはとても明るかったです。私が2人と過ごした日々はとても良い思い出です。最初は、恥ずかしがっていた私だけど、一日、一日と日を重ねていくうちに恥ずかしいという気持ちがなくなってきて、折り紙、UNO、花火、アメリカのカードゲームなど色々なことをやりました。それに、何気ない日常を送っていても、アメリカの生

活、日本の生活、それぞれの生活を体験しているような感じがしました。

お別れの日、私はケイリンとアミラから手遊びを教えてもらいました。今でも忘れられない思い出になりました。

私は、この体験を通して思ったことがあります。それは、たとえ、食文化や生活習慣、言葉が違って、思いはきっと伝わるということです。だから私は、初めて会った人でも恥かしがらずに思い切って声をかけられるようになりたいと思いました。

そして、将来は、食文化や生活習慣、言葉の違う国を超えて、いろいろな人達と関われ、役立てる仕事をしたいと改めて思いました。その為には、まず勉強も頑張っていきたいです。そしてまた、ケイリンとアミラに会える日が来るといいなぁと思いました。

(北村 祐風)



Mendocino  
Miasa-Omachi  
Sister city  
exchange 2015



去年、メンドシーノに行っていたので、準備から自分も向こうで楽しんだように、メンドシーノの方もこっちに来て楽しいと思えるような事をしたいと思った。自分はステップ企画担当で、わたあめを担当する予定だったけれど、当日人が足りないためかき氷の方へ行った。メンドシーノの方が笑顔で来てくれて、待たせてしまったのに笑顔

で帰って行って来てやってよかったなあとすることができた。7年生が中心となって行っていたので、メンドシーノの方と関わる時が多かった。日本語や英語では伝わらなくても、自分が今言おうとしていたことが伝わったときはとても嬉しかった。終わったときはやってよかったと思うことができた。

(7年生の感想より)

# 2015 芸術交流プログラム 開催報告

サンフランシスコから車で約3時間。レッドウッドの森の自然豊かな山稜を背景に、太平洋を望む小さな町がメンドシーノです。

そして、この町の周辺では多くのアーティストが創作活動をしており、町には様々なギャラリーが点在しています。町並み保存地域に指定されているこの町には、豊かな自然と新鮮な食そしてワインなどを楽しみに、ゆったりと時間を過ごしたい旅行者が世界中から訪れます。まさに、「自然と食とアートの町」です。



メンドシーノと旧美麻村は、メンドシーノアートセンターの創設者ウィリ



アム・ザッカ氏と版画家吉田遠志氏の友情を通じて、1980年に国際姉妹都市を締結し、大町市と合併してからも交流が続いています。

2008年からは本格的に芸術交流が始まり、隔年ごとに相互の会場での「アートと工芸をめぐる、ふたつの町の国際交流展」が開催されてきました。

このメンドシーノ芸術交流プログラムは今年で8年目を迎え、この間に双方のアーティストや工芸家98名が参画し、500点以上にのぼる作品が紹介されてきました。

また今年度は展覧会や作家交流だけにとどまらず、美麻小中学校での子供たちとの交流ワークショップが実施されました。大好評の中、豊かな国際交流が育まれました。

この交流事業は大町市を中心に周辺地域にも広がりを見せ、地域文化創造の可能性を大きく広げています。今後も10周年に向けてさらなる活動を続けていきます。

メンドシーノ芸術交流プログラム / 大町創造企画室 小田時男



**子供達の感想**

今回は、司会やスピーチなどをやらせてもらった。英語で話すということだったので練習した。準備はいろいろ大変だったけれど、本番に間に合ってた良かった。メンドシーノの人たちと交流するとき、正直どうなるかわからずとても心配だった。でも、メンドシーノの人たちもわかりやすくしゃべってくれたので、なんとか自分もしゃべることができて良かった。メンドシーノの人たちも楽しんでくれたと思うので、今まで頑張ってきたかいがあったなあと考えた。自分たちが行ったときとは立場が逆になって、準備とかホームステイとか、こんなに大変だったんだと思った。昨年のメンドシーノの人たちにも感謝。貴重な体験ができて良かった。とてもいい交流になったと思う。英語ももっと話せるようになりたい！

(7年生の感想より)

今回の感想は、子供たちの声から、メンドシーノとの交流が彼らにとってどのような経験となったかがよく伝わってきます。英語での交流は、子供たちにとって大きな成長の機会となったようです。

## あゝ親子遠足



保育園保護者会と公民館の共催として、園とパンダクラブで親子遠足を実施しました。毎年恒例?の遠足ですが、今年が目玉は、ブルーベリー狩り！白馬八方尾根の麓にある小さなブルーベリー畑に、あった！こっちにも！等と、子供たちのはしゃぐ声が響きました。真っ青に晴れた空の下、山の深い緑がまぶしく輝く中、無農薬で育った大ぶりで瑞々しい実を摘んでは食べ摘んでは食べ...。それはそれは贅沢な時間を満喫しました。その後、グリーンスポーツ

の森で、アスレチックや小川遊びをして楽しみました。姫川を流れる水が想像以上に冷たく、涼を取るところか手足をつけているのが困難な程でしたが、疲労困憊する大人を尻目に、有り余るパワーを発散する子供たちでした。

子供の数が年々減っている美麻地区ですが、少人数ならではの遠足が楽しめたのではないかと思います。

(池田 紅子)



## 人権を考える市民の集い

人権を考える市民の集いに参加して、美麻小中学校児童意見発表について体験談の中から差別、いじめについて発表がありました。辛い事、孤独感、淋しい事、いろんな事を経験し打たれ強い人間に成長し人権を尊重する意識や態度を身につけて行く事を頼もしく思いました。

講演ピアノ&トークコンサート視覚障がい乗り越えて大月裕夫さんのトークコンサートを聴いて、両眼が見えない状態で生まれ、3歳の時から才能教育研究会でピアノを習い始める。私は両眼を瞑り考えて見た。物体の形、物の色、動物の動作など、全く見た事もない、又、見る事ができない世界でピアノの練習を行う淋しさと不安の中で、大変な毎日が続きましたが耐えきったのです。その後、

松本盲学校へ入学し、2000年にピアノ部門で優勝、この間大変な努力と忍耐力、そして母親の愛情、家族関係者のサポートが成功に導いた事と思い感銘しました。そして、2008年武蔵野音楽大学音楽部器楽科入学国内コンクールで入選し、現在演奏活動で頑張っています。

(大塩自治会長 柳沢優)



## 北部地区親子レク 30メートルの流しそうめんに挑戦

朝9時集合。今年是小林さんから説明を受け作業開始。子供たちは、竹でお椀作り、のこぎりで竹を切り自分好みの大きさに作ります。



竹を鉋で割りお箸作り、小刀で削りサンドペーパーでツルツルに仕上げました。少し怪我をしても自分で作るという事を目標にしました。幸い誰も怪我をすることなく自分のお椀とお箸を作ることが出来ました。

大人は、流しそうめんのコース作り、脚立で高さを調節し水を流します。今年は、小林さん企画でジャンプするコースに挑戦、コースを微妙に調整し悪戦苦闘していましたが、とっても楽しそうでした。続いて子供たちは、みあさいいところよとくれフェアに移動しビンゴゲーム、ニジマスの掴み取りをしました。ニジマスを一匹2匹いただき千見に戻りました。ニジマスの下処理は、中学生と高学年を中心にはらわたを出す人、洗う人、串を刺す人、塩を

塗る人、と自然に流れ作業が成立していました。みんなで協力し、楽しく作業する姿に感心しました。

そして、お腹もぺこぺこ流しそうめんの時間です。コースを挟んで全員集合。あいにくそうめんはうまくジャンプしませんでした。自分で作ったお椀と箸で食べるそうめんは少し特別な味だったと思います。学年に関係なく関わりあう子供たちの姿に何度もいいなと思う場面があり、これが地区レクのいいとこだな—と思いました。

青具、千見で合同の地区レクは初めての試みで心配しましたが、子供、大人ともに協力し楽しい時間を過ごし無事終わることができほっとしています。みあさいいところよとくれと日程が重なり頭を悩ませましたが、子供たちが参加できるようにとタイムスケジュールを調整していただいたみあさ地域づくり会議の皆さん本当にありがとうございました。（松下信廣）



## 南部地区親子レクを終えて

今年より特認校や生徒数の減少に伴い、各地区で行っていた親子レクを南部、北部に分かれて開催することになりました。



南部地区は、8月8日(土)に二重ゲートボール場で、60人程の参加でバーベキュー、すいか割り、ビンゴ、花火、きもだめし等を行いました。

学年、地区が違っていると保護者同士なかなか交流する機会がないのですが、今回はバーベキューをしながら皆さん交流ができ、楽しかったというご意見をいただけて良かったと思います。

お父さん達により点火された35mのナイアガラ花火はきれいで夏らしさを感じました。

きもだめしは、親がお化け役であちこちに隠れ驚かしました。あちこちからキャーキャー声が聞こえており、怖かったようです。

親も子も楽しい時間を過ごすことができました。

初めてのことでどうなるか心配でしたが、皆様のご協力により、無事終わることができました。ありがとうございました。

(南部地区会長 北村 恵美)



# 大町やまびこまつり 今年も盛況！美麻連



美麻連は、8月1日に開催された大町やまびこまつりに、子どもからお年寄りまで、120名を超える地域の皆さんから参加いただき、大いに盛り上がりました。

美麻地域づくり会議では、恒例となっている足湯（間伐材温泉 枝木（エコ）の湯）の出張サービスを行い、訪れた多くの人に楽しんでいただきました。

## 美麻地区トレッキングに参加して

7月26日（日）に美麻公民館主催の美麻地区トレッキング、「小川村の歴史とお寺をめぐる」に参加いたしました。美麻地区の8名と講師として小川村元教育長の笠原氏の9名です。最初に訪れたところは、小川村郷土博物館。ここはオリンピック道路沿いにある施設。次に隣接する旧長野県知事公



舎を見学。大正9年洋館と和館が接続した建築で、全国的にも珍しい工法との事。ここ小川村に移築復元した経緯等を笠原氏より伺いました。個人的に関心があったのは、和室の欄間で、簡素かつ味わいのあるものでした。次に訪問したところは、「法蔵寺」（ねこ寺 恩返しをした猫の伝説が伝わる）横に長い堂々とした建物に圧倒されました。次に「高山寺」ここでは1195年創建された、高さ17メートルの三重塔がやはり目を見張る立派なものでした。「星と緑のロマン館」では、バーベキューをしながらの昼食。帰路の途中には「明松寺」にも寄り、有意義な1日でした。近くの小川村でしたが今回の公民館企画でもない限りなかなか訪れることもなかったかと思いました。

（ふたえ市民農園 依田和美）



# 美麻市

## 美麻市が再開！ 第1回は、 美麻い〜とよっとくれフェアと同時開催

去年で終わった美麻市ですが、大勢の方の再開を熱望する声がありまして今年4回の開催をすることを部会で計画致しました。

先日行った「美麻い〜とよっとくれフェア」との合同開催では、ミニゲームや魚のつかみ取りに大勢の方が参加していただきまして活気の有るものとなりました。9月20日はおやき恋訪、10月25日は美麻地区文化祭、11月15日は松崎和紙さんの紙すき等のイベントの合同開催を予定しております。



恒例の魚のつかみ取りは、たくさんの子供たちで賑わいました。



美麻市のスタンプラリーは、来年初夏オープン予定のぼかぼかランド美麻の温泉入浴券がもらえるという新たな試みです。美麻の道の駅が大勢のお客様と沢山の出店者の方で賑やかになるように私達の部会では考えております。皆様方からの声も参考に頑張っていくと思っております。

美麻地域づくり会議 道の駅活性化・  
美麻市事業部会 部会長 大塚一男

次回は、  
**9/20** 日

& 北アルプス  
おやき恋訪

時間: 午前9時～午後3時

# バドミントン部中信大会出場報告



6月27日、信州スカイパーク総合体育館において開催された第54回長野県中学校総合体育大会中信地区予選バドミントンの部に、美麻小中学校バドミントン部の部員全員が出場しました。

創部から3年も経っていない部ではありますが、9年生の海端奈月さんが女子シングルの部で大健闘し、中信

地区でベスト8に入るといふ快挙を成し遂げました。また、同じく9年生の北沢真寛君、保科貫太君は、男子シングルスでベスト16に進出、8年生の伊藤瑛喜君と間藤恵志君は男子シングルスで2回戦に進出しました。他の部員も1回戦敗退ではありましたが、最後まで諦めずにシャトルを追いかけ頑張る姿が見られました。

残念ながら県大会出場にはなりませんでしたが、他校のジュニアチームからバドミントンをしてきたような強豪を相手に互角に闘うことができ、美麻のバドミントン部の成長を実感できました。

さあ、次は新人戦です。県大会出場をめざし頑張ってください！



中信大会がありました。私はその大会でベスト8に入ることができました。すごく嬉しかったです。

私は、1年生の途中からバドミントンを始めました。私の目標はベスト8に入ることが1年生の時から目標でした。なのでその目標が達成できてすごく嬉しかったです。でも、後一步で県大会に行けたのかと思うと少し悔しいなと思います。

私は高校でもバドミントンを続けたいと思っています。なので、今まで以上に沢山練習をして強くなりたいです。大会などでは中学の時よりももっといい成績を残していきたいです。

私は部活を通して沢山の事を学べた

し、自分自身も変わったのではないかと思います。この、部活で学んだことを普段からの生活に生かしていけたらいいなと思います。

部員のみんなや親、コーチや先生など沢山の方々が応援、指導をしてくれました。お世話になった方々にしっかりと感謝したいです。

(海端 奈月)



## みんなで作るコミュニティ・スクール

### コミュニティスクール ボランティア研修会 (6/27)

教育国立教育政策研究所より長田徹総括研究官を講師に迎え、研修会を行いました。

研修会は、「教育支援講演会」と「支援ボランティア研修会」が行われました。教育支援懇談会には、大北地域の教職員やPTA関係者等100人程の参加があり、この地域のコミュニティスクールに対する関心の高さがうかがえました。

東北大震災の際に宮城県の教育委員会に勤務されていた長田講師のお話は、臨場感にあふれ、特に、震災時の話題では参加者の涙を誘っていました。震災時においても、学校と地域の結びつきが大切だったことを伺い、美麻小中



学校の活動は間違っていなかったと納得しました。

美麻支援ボランティア研修会では、前半に総合の時間で災害について学習している、美麻小中学校8年生による講師へ質疑がありました。生徒から内容の濃い質問を受け、丁寧にお答えいただくとともに、生徒の受け答えに講師も関心されていました。

研修会の後半では、学校支援ボランティアと講師の意見交換の時間を設け、内容のある研修会となりました。



### 市道の草刈ボランティア (6月20日)

地域づくり会議、地元関係建設業者、美麻支所関係職員のボランティア約40名により市道の草刈り作業が行われました。

当日は晴れ間の中、道路まで伸びた草と格闘しながら作業。4班に分かれて、約8kmの道を半日かけて実施いたしました。大勢の皆さんが汗だくになりながらも、道路わきの草刈作業に取

り組んでいただいたおかげで、見通しが良くなりました。

私は今回が初めての参加でしたが、美麻地区の皆様の団結力と草刈機を扱う皆様の機敏な動きに圧倒されっぱなしでした。

作業にご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

## お知らせ掲示板



花豆を使った料理や和菓子スイーツを募集します！

応募は試食ができる作品でしたら自由！当日開場で試食会を行います。

参加をご希望の方は**10月15日(木)**までに事務局にご連絡下さい。

最優秀作品と優秀作品に賞品、参加者全員に参加賞を差し上げます。

**参加希望者で、材料の花豆が必要な方は、事務局までご連絡ください。**

お申込み お問い合わせは  
地域づくり会議事務局まで  
電話 29 - 2311

## 美麻小中学校 学校公開について

大町市教育委員会が小規模学校の学区拡大を図る特認校制度を実施していることから、本校への転入学を検討する児童・生徒および保護者の皆様の参考にしていただく機会とするため、本年度も学校公開を行います。

日時：  
平成27年9月26日(土)  
午前中

なお、日程及び内容：詳細については、学校からの配付文書において後日ご連絡いたします。



## 地域づくり会議活動協賛者を募集します。

平成27年度に、地域づくり会議の活動を応援をしていただける協賛者を募集しています。

**協賛金は1口(5,000円)から受け付けています。**

協賛いただいた方には、協賛特典も用意しています。ご検討よろしくお願ひします。

## 協賛者の特典

美麻Wikiにページを設け紹介します(希望される方)

地域づくり会議の印刷機の利用特典など

[ 詳しくは事務局(29-2311)までお問い合わせください。 ]

編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info